

ななほう

# 議会だより

1月  
2014 vol.131



# 新年の

ごあいさつ



南陽市議会議長

遠藤 榮吉

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな初春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

の皆様への期待に応えられるよう改革に努めてまいり所存です。結びになりますが、南陽市と市民皆様様にとりまして輝かしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

昨年中は市民の皆様からご理解とご協力を賜り、各議員が自己の良識と信念に基づき議会活動に精励し、地域振興や市政発展に尽力できましたこと心から御礼申し上げます。

南陽市議会では、さらに開かれた議会を目指す、本会議インターネット中継や議会だよりの充実を図り、市民



## 12月定例会

8議員が一般質問  
多方面にわたり白熱  
した議論を展開

一般質問は船山利美、高橋弘、山口正雄、白岩孝夫、高橋一郎、板垣致江子、佐藤明、白鳥雅巳議員の8名で9・10日に行われた。新文化会館建設については、建設後の管理運営、ホールの稼働率、名称の命名権など質問が相次いだ。また、向山球場の駐車場増設やトイレの設置、公共施設のマネジメントについて、当局の考えをたしました。

(二) 一般質問関連記事は

## 12月定例会のあらまし

12月定例会が6日から20日までの15日間の会期で開催されました。補正予算、条例その他16議案を審査し、全議案を全会一致で可決しました。一般質問は8人が行い、新文化会館管理運営、防災、財政、観光、教育、空き家対策等について活発に議論し市政をたしました。

### 常任委員会 付託審査

6〜9頁に掲載）  
今回は総務2件、文教厚生7件、産業建設4件の付託案件の審査を行った。審査結果については、10〜12頁に掲載してまいりますのでご覧下さい。

### 予算特別委員会 財政調整基金3億積み増し

18日に予算特別委員会を開催し、25年度一般会計補正予算はじめ後期高齢者医療特別会計補正予算、下水道事

### 議会最終日 各常任委員長報告 と質疑、採決

議会最終日には、各委員長の審査結果報告を行い、表決の結果、条例・その他議案7件を原案どおり可決。

その中で主なものは、総務常任委員会は法律の改正に伴い税条例と国民健康保険税条例の一部を改正するもの。

文教厚生常任委員会は漆山地区ふれあい交流センター（漆山公民館）が完成することから、設置、管理に関する必要な条例を設定するもの。また、現在建設中の漆山保育園の中に学童保育施設を併設することから条例の制定を行うもの。

産業建設常任委員会は勤労者総合福祉センター（ワトワセンター）、赤湯温泉観光センター（ゆーなびからこる館）、ハイジアパーク南陽、南陽スカイパークの指定管理者の指定を行うものでいずれも可決されました。



ワトワセンター

※公共施設マネジメント…老朽化した公共施設が増加している問題に関し、施設の安全性を高め寿命を延長して総費用を縮減したり、自治体の規模に合わせて最適化を行う施策。



多機能型消防ポンプ  
車両を購入します。  
国道13号岩部山トン

2200万円

多機能型ポンプ車を購入

25年度  
一般会計補正予算  
3億7,091万円  
ここに  
注目★

ネルにおける車両事故  
や、地震等による建物  
倒壊での人命救助、山  
林火災など、様々な災  
害に対応する資機材を  
搭載した車両です。  
第8分団(中川地区)  
に配備し、当該消防団  
員の車両及び装備に対  
応した訓練を行い、多  
様な災害への対応に努  
めます。

## 電気料値上がり分を増額

105万円

本年9月から電気料金の値上げが実施され  
ました。電力会社からは、契約種別区分によ  
り平均15.24%の値上げの通知があり、今年度  
の残り期間を試算し不足額を補正増額するも  
ののです。市役所庁舎内も  
昼休み時間などは消灯し  
節電に努めておりますの  
で、市民の皆様のご協力  
をお願いします。



24年度の決算で生じ  
た繰越金を、地方財政  
法のルールに基づいて

財政調整基金は、市  
税などの歳入が年度に  
よって増減し収支が不  
足する場合、年度間の  
財源不足に対応するた  
め設置しているもので  
す。一般家庭の貯金に  
当たります。

一部を基金として積み  
立て、豪雪を含む災害  
や急な財政需要に備え  
ます。  
昨年度末の基金残高  
9億5736万に3  
億円を追加します。  
なお、25年度中に新  
文化会館整備事業で一  
部を取り崩します。

財政調整基金を積立

3億円

## その他の主な事業

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ☆生活保護管理システム改修   | 1,003万円 |
| ☆生活保護受給者の医療費増   | 700万円   |
| ☆介護施設スプリンクラー補助  | 261万円   |
| ☆第4子以降保育費交付金増   | 99万円    |
| ☆梨郷児童館の倉庫解体費    | 43万円    |
| ☆沖小・荻小に暖房器増設    | 60万円    |
| ☆ニューイヤー駅伝出場費用   | 39万円    |
| ☆27年度全国菊花大会準備補助 | 30万円    |

## 漆山と梨郷に水防倉庫を設置

1,600万円

今年7月の豪雨で吉野川が氾濫し、床上・床  
下浸水が市内各地で発生しました。現在、吉野  
川沿いには、宮内地区に市の水防倉庫が、赤湯  
地内には県の水防倉庫が設置されています。

この度の災害を受けて、漆山地区ふれあい  
交流センター脇と梨郷公民館脇に、水防用の  
土のう等の防災資機材や毛布等の防災用品を  
備蓄する倉庫を設置し、防災態勢を整備しま  
す。

# 予算特別委員会

## の予算の 補正 質疑要旨

佐藤 明 議員

### 法人税引き下げの 市税への影響

◎法人税引き下げの市税への影響はあるか。あるとすれば影響額は、

〈市長〉 日銀短観でも上昇傾向にあるので、大きな影響はないもの

と思う。

〈税務課長〉 法人税が下がるのは復興法人特別税で、法人市民税に直接影響はない。

### 介護保険法改正の問題点

◎今般の介護保険の見直しの内容は、

〈福祉課長〉 まだ案の段階だが、厚労省担当課長補佐の説明によれば、目的は団塊の世代が後期高齢になる2025年を見据えて、住み慣れた地域で暮らしていけるように地域包括ケア体制システムをつくること、介護保険料の増加に備えて低所得者の保険料の軽減を図ること。制度を維持するために重点化効率化を図ること。

◎改正の問題点は、①一定所得のある高齢者負担を1割から2割に

する。②特老に入っている要介護の1、2をなくす。③しかも自治体に丸投げる。

市民の老後については、関係施設の方との対話・懇談をしながら対応していく必要があるのではないか。

〈福祉課長〉 要支援者に対して個別給付から地域支援に見直し、給付の減を図る。たとえば、ゴミだしをヘルパーから地域の多様な団体でもできるようにする。負担の増については、一定所得以上の介護保険料負担を2割にし、低所得者は1割で負担の公平を図る。

◎介護事業を自治体に丸投げすれば、困るのは自治体や職員ではないか。

### 福祉灯油について

◎福祉灯油の経過と今

後の見通しはいかに。

〈福祉課長〉 原油が高騰した時代に県の救済制度により行ってきたが、今はない。具体的

に検討はしていない。

◎福祉灯油は市単独で買に行けない高齢者に配達との差額を給付することは、

〈市長〉 円安で燃料代が高騰している。財源の確保が課題。国が補てんの制度をつくるのか、他市町の動向等社会状況を見ながら検討する。

### 菊まつりを発展させるには

◎現状のままでは衰退の一途を辿る。発展させる方法を考える時期ではないか。

〈市長〉 実行委員会も資金調達が大変で金のかからない形になった。



コースや人形も少なく、滞在時間が短くエージェントの商品にならない。また「菊とぶどう」といって湯の里のキャッチフレーズにも影響してくるので、検討時期に来ている。

片平 志朗 議員

### 認知症予防と早期発見・治療を

◎白鷹町が厚労省の「認知症初期集中支援チーム設置促進モデル事業」の実践団体選ばれた。国全体では24

年度300万人、年々

増加すると言われている認知症。南陽市内の施設は間に合っているのか。

〈福祉課長〉 市内にグループホーム5カ所あるが、今後の増加に間に合うかは疑問がある。在宅で生活できる体制を地域全体で作っていくとするのが見直しの柱になっている。

◎白鷹町の施策を注視し大いに活用してほしい。また、認知症は早期発見・治療が課題で、医師間の協力体制が必要と思うがどうか。

〈福祉課長〉 活用できるものは取り入れていく。また、県内に3カ所認知症疾患医療センターが設置されており、本市では佐藤病院内に併設されている。かかりつけの医師が認知症の疑問をもったときに同センターに紹介する

という仕組みになっている。

## 高橋 一郎 議員

### 植林が伐採の条件 のはずでは

◎市長は植林が伐採の条件だと3月29日の臨時会で答弁した。「無花粉・少量花粉杉なども使用したい。植林には国や県の補助もでる。差額は市独自予算でサポートしたい。」とも言っている。現在、山林所有者に対しての指導と反応は。その予算措置は当初予算か。

〈市長〉市は米沢地方森林組合に木材の供給の委託をした。市が植林を直接指導するわけではなく、森林組合と山林所有者と個々の話し合いになる。

◎それでは話が違つ。  
伐採の条件だといふこ

とで森林再生になると納得して進めた事業だ。再度質問する。

〈市長〉米沢地方森林組合には、伐採後は責任をもって植栽するという確認をしているので問題はない。

### 雪おろし助成費に 関して

◎高齢者等雪おろし助成事業の昨年度の利用者世帯と金額は。今年の予算額は。

〈福祉課長〉24年度実績は103世帯で120万円、本年度の当初予算は150世帯18



0万円を見込んでいます。◎1万2000円では1回切りだ。有償ボランティアだと3回はできるが、手続きの簡素化と制度の充実を望む。

### 健康診断の会場に 関して

◎健康長寿センターで受診したが、駐車場も狭く、2階で問診をするので外のレントゲン車の1階への上り下りがお年寄りには大変きつい。地区割のバランスも悪いのでは。

〈保健課長〉住んでいるところに近い施設との要望に応えた。南陽検診センターは他市町も実施している。本市への配分日の余裕がないこともある。

◎地区割を変えるとか、垂直移動のある健康長寿センターでは実施しないとか、駐車場を近

接に確保するとかの配慮を求める。

〈保健課長〉割当地区の当日変更も認めている。会場については今後も検討していく。

## 吉田 美枝 議員

### 無認可保育所も対象に！

◎第4子以降無料化の対象施設はどこを指すのか。

〈福祉課長〉認可保育所、認可幼稚園、児童館の三力所だ。

◎待機児童として無認可保育所に行っている子もいるが、その人数は。

〈福祉課長〉掌握していない。



◎子育て支援事業の一環として、無認可保育所も対象にすべきと思うがどう考えるか。

〈市長〉こうした制度を検証する時期と思っている。もっと広く全体に恩恵を得る制度に考えなければならぬと思いますので、それも含めて検討したい。

## 板垣致江子 議員

### 童謡「ないしょ話」 で情操教育を

◎全国的に児童虐待がふえている。親子関係が上手く築けないところで事件が起きている。教育面でも「ないしょ話」を伝えて行くということは子供の情操教育に良いと思うがどう考えるか。

〈教育長〉敬老会や特老施設でも郷愁感のある童謡や唱歌は生きが

いや拠り所となっている。教科でも音楽、美術、工作、体育、読書などで情操教育を行っているが十分とは言えない。今後、校長会に諮って、情緒とか感性に磨きがかかるような教育環境を整えて情操教育の充実を図っていく。

◎8ミリクラブで作成したDVDを道徳教育の中で活用することやふるさとの事業を見直すというところに取り組めないか。

〈教育長〉優先的に使うよう、いろいろな機会に学校にお願いしていきたい。

◎童謡「ないしょ話」は20代、30代は知らない人が多い。この歌は親子が寄り添えるという感想も寄せられている。教育環境の中に入れて行ってもらいたい。

# 答 弁 要 旨

## 豪雨災害の検証と今後の防災取組みは フラワー長井線の今後のあり方は

船山 利美 議員



◎7月18・22日に豪雨災害で甚大な被害を受けた。危機管理課で自主防災組織の設置推進に向けた取り組みがなされているが、市内の組織率はどの程度か。

〈市長〉自主防災組織の組織率は83・8%。20年度より各地区にお願いをして現在の組織率となった。

◎避難についてモデル案を作成すると示されているが、水害の場合水平避難だけでなく垂直避難も重要な対策だが、避難の種類についても考えているか。

〈危機管理課長〉水没エリアの中にあつては構造がしつかりして、2階・3階であれば垂直避難もマニュアルの中で考えていきたい。◎避難所である学校での不適切な言動があったようだが、その後、

情報や認識の共有が図られる話し合いなどはなされたのか。

〈教育長〉学校を預かるスタッフは子供の安全と保護者に渡すことが大事であった。次の非常時には同時並行的になるよう配慮する。

◎フラワー長井線の今後のあり方について、上下分離方式を導入とあるが老朽化した施設・設備はどうする。

〈市長〉経営圧迫を最小限に抑え、計画的な維持管理に努めていく。10力年計画で、車輦の更新予定はない。鉄道橋も現在は安全が確保されている。

◎バス運行も考えなければならぬのでは？

〈市長〉南陽市単独でのバス転換議論には課題がある。10力年計画を見極め、抜本的展望は33年以降となる。

## 災害の予防対策と 観光政策について

高橋 弘 議員



◎7月18・22日の豪雨災害を検証する中で、雨量情報はどのように取得したのか。

〈市長〉河川砂防情報や山形地方気象台提供の降雨量状況及び降雨量予測等を活用した。

◎避難準備情報、避難勧告の出し方は。

〈市長〉この度の豪雨災害のデータを参考に、河川の水位を基本として、その基準の作成を進めている。

◎豪雨災害を想定した避難訓練は。

〈市長〉各地区自主防災組織と協議・検討してモデル案を作成し、混乱を招かないようにしたい。また、市総合防災訓練でも水害や土砂災害を想定した避難訓練を検討したい。

◎護岸工事の完成は。

〈市長〉工事個所で違う。1力所は今年度か

ら27年度まで。もう1力所は28年度まで。その他は公共災害の指定を受け、順次工事を実施する。

◎土砂災害の予防策は。

〈市長〉市内に174箇所土砂災害危険区域が指定されているので、危険度の高い箇所

の点検を検討する。◎高速道路利用の観光客対策と、観光地同士の連携については。

〈市長〉東北中央自動車道米沢福島間は29年度開通予定。道路完成で隣県や首都圏からのマイカー等利用の誘客を図ることが課題。また、本市は国道13号と113号の交差する交通の要所であり、その地の利をアピールしたい。観光地同士の連携は本市の特色を活かしながら発掘したい。



山口 正雄 議員

## 常設トイレ建設を検討すべき！ 新文化会館管理運営計画の素案作成は！

◎向山ソフトボールB球場南側駐車場の拡大と同駐車場に常設トイレを設置すべきだ。また、駐車場通路を安全性・利便性から5mにすべきだ。

〈市長〉17インターハイの成功とスポーツ振興、地域活性化のため、駐車場の拡大、常設トイレ、通路拡大は実施すべく検討していく。

◎新文化会館の管理運営計画検討に専門家が加わっているか。また、素案はいつできるか。

〈市長〉専門家委員会等から意見を頂戴しており、素案を年度末までまとめたい。26年度当初に、利用団体協議会及びボランティア団体を組織し、意見を頂戴し管理運営計画を策定していきたい。

◎管理運営における委託部分は何か。

〈市長〉専門知識を必要とする舞台サービス、音響、照明、施設の維持管理や保守点検等と興行誘致を委託と考えている。

◎年間の維持費はいくらと試算しているか。

〈市長〉現在積算中であるが、同規模ホール維持費を踏まえると6000万〜1億円と考えている。

◎年間稼働率は。

〈文化会館整備課長〉

補助金の関係もあり、低くても60%と考えている。

◎新文化会館の名称は。また、命名権は。

〈市長〉著名な方に命名、監修頂くことで広く内外に知名度を高めていくのも一つの考えだ。命名権については、同規模ホールを参考に情報収集し、検討して参りたい。



白岩 孝夫 議員

## 27年後には人口1万人減少 次世代のため公共施設長期計画を

◎烏帽子山公園の桜が開花不良だった原因調査状況、管理方針は。

〈市長〉2月までに桜の根系調査や土壌分析等の結果が出る。その後対応策を検討させていく。3月までに樹形を整える剪定作業を行う。

◎新文化会館の総事業費圧縮の検討結果は。維持管理費の見込みは。

〈市長〉現在も総事業費圧縮の努力を重ねている。維持管理費は6000万〜1億円程度。

◎維持管理費は自主文化事業費を含むか。45億のときは維持管理費6000万、自主文化事業費4000万、計1億だった。維持管理費が上がるのか。

〈文化会館整備課長〉上がると明言するものではない。維持費に文化事業費は含まない。

◎維持管理費が現市民

会館よりも8000万は上昇する。何を削って捻出するのか。

〈市長〉これがいらないというものはない。収入と支出のバランスをしっかりと考える。

◎総合的な公共施設のマネジメントについて。本市の人口が1万人減少すると予測される27年後の2040年においても公共施設の総量維持は可能か。長期的な公共施設再配置計画が必要だ。

〈市長〉少子高齢化を見据え教育水準を維持するため、利用実績の少ない公共施設は統合廃止の必要性もある。計画策定には今しばらく猶予をいただきたい。質問の趣旨に添って、市財政の透明性を高めるため、まずは一般会計の総務省基準モデル導入を進める。

# 答 弁 要 旨

## おび 災害に怯える池黒峰岸地区民 市長自ら県に防災工事の要望を

高橋 一郎 議員



- ◎池黒七組の提出した要望書に対する市長回答を踏まえ質問する。
- 災害予防の警戒パトロールは、具体的に誰が行うのか。
- 〈市長〉 常時のパトロールに加え、降雪の状況や気温の変化に即して危機管理課及び建設課で行う。必要に応じて山形県に相談する。「なだれ注意」の看板を設置するなど注意喚起を図る。
- ◎雪崩の発生が危惧された場合は、斜面の雪を一部除去するところが、その判断は専門家が行うのか。その費用の予算確保はいかに。
- 〈市長〉 山形県と協議をしながら対応策を講じる。費用は市の災害対策費で行う。
- ◎植林は伐採の条件としているが、どのような指導をしているか。
- 〈市長〉 当該地は植林する方向で進んでいる。
- ◎災害防止工事の事業主体となる山形県に具体的にどのように働きかけをしているのか。
- 〈市長〉 事務レベルの協議を進めながら11月1日に「急傾斜地崩壊対策の推進」の要望書を山形県に提出し、事業の採択をお願いしている。
- ◎伐採を発注する際、急傾斜地で災害の怖れがある山林を除くという条件をなぜ付けなかったのか。伐採届の受理時に土砂災害危険区域の確認は行ったのか。
- 〈市長〉 当該地は伐採にあたり特別な制限がない。根もとを長く残す対応をした。
- ◎災害が発生した場合のはだれの責任か。
- 〈市長〉 災害が生じないように管理していく。

## 山形DC※に向け、 観光資源のより一層の活用を！

板垣致江子 議員



- ◎世界的にも称賛される十分一山のスカイパークからの景観と夜景は貴重な観光資源。体験飛行ができることも、まさに着地型旅行。将来的にも多くの人が楽しめるよう施設の充実やオートキャンプ場の整備を進め全国に発信すべき。
- 〈市長〉 スカイパークは本市を代表する観光素材と捉えPRしている。オートキャンプ場は県南県立自然公園の制約もあり今後の検討課題。スカイスポーツエリアを優先し整備する。
- ◎発展性のある運営のために指定管理料を予算化し、市民も訪れやすい施設管理を望む。
- ◎宮内出身の「結城よしを」が作詞した「ないしょ話」は南陽の大切な宝物。ラジオ等でも注目されているが、教育日本一にもふさわしく「童謡のふるさと」として市民皆で大切に歌い継ぎ、駅や街中でも聞こえる「ないしょ話」など南陽ブランドとしてもっと発信を。
- 〈市長〉 宮内駅前商店街の「あのねのねフェスティバル」や、昨年は「ないしょ話童謡祭」が開催され、南陽ブランドの一つとして発信できたと考える。引き続き情報を発信していきたい。
- 宮内駅前ないしょ話碑



※DC…地方自治体及び地域の観光事業者等がJRグループと連携して、対象エリア（デスティネーション）の集中的な宣伝を広域で実施することにより、全国からの誘客を図ることを目的とする日本最大規模の観光キャンペーン。



佐藤 明議員

## 「市民の声」を 来年度予算編成に!!

- ◎長引く不況の続く中で地元商工業者の営業と暮らしをどう守っていくのか。また、福祉と医療、子育て支援と教育・農業・観光等々の施策はどのように考えているか。
- 〈市長〉東日本大震災以降、本市経済は厳しい環境に立たされている。株価の回復基調や、建設業・製造業を中心に持ち直しの気配も見られるが、今後労働者の賃金が好転し、景気の回復を期待しているところだ。
- ◎働く人の所得を増やし雇用を守ること、更に、消費税大増税に反対し、税財政と経済の民主的改革による社会保障等の充実と財政危機の打開を図ることではないか。
- 〈市長〉私も金融機関などをまわり、ご意見を聞き、市内景況のテコ入れに一層力を尽くしていきたい。
- ◎10月の臨時議会で新文化会館に12億円の追加財源が提示されたが、来年度予算編成時ににおける新規事業、継続事業等々に影響があるのでは。
- 〈市長〉内訳は地方債、財政調整基金及び一般財源となっており、地方債については後年度に負担を送るものであり、新年度予算への影響はない。
- ◎影響はないと言われるが、財布の中身はいずれも一般会計からの持ち出しであり、影響はあるのではないか。
- 〈市長〉全然ないとは言えないが、市民サービスの低下にならないように努めて、予算編成に取り組んでいきたい。



白鳥 雅巳議員

## 空き家の有効活用はできないか！ 子育て支援の充実を！

- ◎危険な空き家の所有者等に対する行政の指導責任は。
- 〈市長〉隣接する家屋への被害や、万が一の人的被害に対する賠償責任は、所有者若しくは管理者にある。行政としては責任があるものではないが、防災上緊急事態が生じた場合は危険回避のため、最低限の対応を行う。
- ◎空き家の有効活用はできないか。
- 〈市長〉庁内の空き家対策検討委員会で検討中。個人の財産を市で借り上げて貸し付ける考えはないが、優良な空き家が、時間の経過とともに荒廃している事実もあり、検討課題としていく。
- ◎I・Uターン者や生活保護世帯への空き家の支援的活用は。
- 〈市長〉空き家情報の提供は有効と考え、対策の一つとして検討し、その環境づくりも考えていく。
- ◎子育て世代への支援策をどう考えていくか。
- 〈市長〉27年度から、子ども・子育て支援新制度がスタートする。小学3年生以下の児童・幼児を持つ全世帯に、子育てニーズ調査をしている。その結果を踏まえ、地域子育て支援事業計画を策定し、支援の充実に努める。
- ◎学校給食費の全額補助は可能か。
- 〈市長〉給食費を全額補助とした場合、25年ベースで約8650万円の支出となり、すべて市税等の一般財源で賄わなければならないので、他自治体の例も参考にして、慎重に検討していく。

# 総務 常任委員会

## 審査報告

### 税条例の一部 改正

#### ◆南陽市税条例の一部 改正

①個人市民税において、納税義務者が市外に転出した場合も、一定の要件の下に年金から特別徴収を継続すると共に、年間の徴収税額を平準化するもの。  
28年10月施行。

②投資環境の整備を図る観点から、株式や公社債等の金融商品により異なっていた課税

方式を一体化するため、必要な規定の整備を図るもの。29年1月施行。

委員から、年金から特別徴収されている方への周知について質問があったが、当局より国の制度ではあるが、市としても怠りなく実施していきたいとの説明があり、全員異議なく可決。

#### ◆南陽市国民健康保険 税条例の一部改正

金融所得課税の一体化として、投資環境の整備を図る観点から、必要な規定の整備を図るもの。29年1月施行。

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもので、全員異議なく可決。  
(委員長 吉田 美枝)

## 議会報告

### 置賜広域行政 事務組合議会

11月26日定例会が開催され、10議案が上程され全て承認可決された。前回否決した一般職の給与削減条例は削減期間7カ月を6カ月にする修正案が出されたが、採決の結果否決され、原案の採決を行い賛成多数で可決された。

#### ◆24年度一般会計は黒 字決算

歳入決算総額は38億4220万円、歳出総額は37億4259万円、実質収支額は8307万円となった。

#### ◆「ゆるっと」の指定 管理者を(株)ヤマコーに

今年度で指定期間が満了になることから、26年度から5年間(株)ヤ

マコーに指定管理者の指定を決定した。(継続)

#### ◆給与削減条例可決

9月臨時会で否決されていた案件で、今回再度上程。削減内容は米沢市に準ずるもので、削減期間は12月から7カ月間、平均削減率5.59%の原案。6カ月の修正案が出されたが否決されたため、原案の採決を行い、賛成多数で可決された。  
(置広議員 片平志朗)



南陽消防署に配備された高規格救急車

### 置賜広域病院 組合議会

10月定例会は31日南陽市議会場で開かれた。

#### ◆24年度事業会計決算

提出議案は次の通り患者が減少したものの一人当たりの診療収入が増加した事で、2.8%の増収となった。医療事業費の伸びを抑え、収益は前年比1.6%の改善がはかられた。

#### ◆25年度事業会計補正 予算

24年度事業決算に伴う構成団体負担金の清算のための予算措置で、各々認定、可決された。

## 行政視察報告

置賜広域病院組合議会議員研修視察は、置病と同程度の機能を有し、医療連携に取組み救急医療を担い、経営

が優良である病院について調査を行い、置賜地域基幹病院として医療体制に資する目的で視察を行った。

11月7・8日、東京築地にある国立がん研究センター中央病院を視察。当病院は日本のがん撲滅の中核拠点であり、最先端医療を実践している。全国から600人ほどの患者が来ている。より優れた診断法や治療法を確立し、世界に発信しているとのこと。

(置病議員 殿岡和郎)



医師の説明を聞く置病議員

# ・社会教育委員の構成を条例で規定 ・指定管理者2件の継続を可決

文教厚生  
常任委員会

◆漆山地区ふれあい交流センター設置及び管理に関する条例の設定  
◆南陽市公民館条例等の一部を改正する条例の設定  
◆南陽市立漆山学童保育施設設置及び管理に関する条例の設定

この3件は現地調査に基づく審査を行い、全員異議なく可決。

◆南陽市学校基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定



完成した漆山地区ふれあい交流センター

全員異議なく可決。

◆南陽市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例の制定

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する

活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。

◆南陽市健康長寿センター・デイサービスセンターの指定管理者の指定

◆南陽市老人いこいの家の指定管理者の指定

この2施設とも、社会福祉法人南陽市社会福祉協議会を指定管理者とすることを全員異議なく可決。

(委員長 高橋 弘)

## 二つの地域拠点を整備 漆山の活性化と子育て支援に寄与

文教厚生常任委員会

流センター

に付託された議案3件につき、現地の視察を必要とすることから、漆山地区ふれあい交流センター及び漆山学童保育施設を12月13日に視察した。

◆漆山地区ふれあい交

旧JA山形おきたま漆山支店を取得し改修した建物で、ほぼ完成しており、中に入ると新しい畳の香りがする。明るく広々とした感じがした。間取りはホール、事務室、小会議室、

第一第二和室、調理室、トイレとなっており、これから漆山地区の地域活性化、また地域コミュニティの推進に大きく寄与するものと感じた。

◆建設中の漆山学童保育施設

この施設は漆山双葉保育園（仮称）と同じ建物の中にあるということだが、まだ基礎工事の段階で、建物は建っておらず委員からは4月1日オープンまで間に合うのか質問も出た。請負業者からは、全力を尽くしオープンまで間に合わせるということだった。

あまり雪が積もらないことを祈るばかりだ。

(委員長 高橋 弘)



工事中の漆山学童保育施設を視察

# 指定管理者の指定4件を可決

これまでの指定管理期間は25年度末で終了。26年度からの3年間も管理者として更新。

## ◆南陽市勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定

通称ワトワセンターの管理者として、株式会社エービーエムを指定するもの。

委員から施設利用料金についての質問があったが、原案どおり可決。

## ◆赤湯温泉観光センターの指定管理者の指定

通称ゆーなびからころ館の管理者として、赤湯温泉旅館協同組合を指定するもの。

全員異議なく原案どおり可決。

## ◆ハイジアパーク南陽

### の指定管理者の指定

株式会社ハイジアパーク南陽を指定管理者として指定するもの。委員から入館料の見直し等の意見もあったが、原案どおり可決。

## ◆南陽スカイパークの指定管理者の指定

南陽市スカイレジャー振興協議会を管理者として指定するもの。

委員から、利用者の減少や利用料金の設定について意見があったが、原案どおり可決。  
(委員長 白鳥 雅巳)



ゆーなびからころ館

## 管内視察レポート

### ・広々とした工場！(株)かわでん

### ・全国に販売網を広げる宮城興業(株)

10月24日、3カ所の管内視察を行った。

#### ◆宮城興業株式会社

高橋社長から会社概要の説明を受けながら、工場内の案内をしていただく。

会社は昭和19年創業で、現在約75名の社員が働いている。

製造品目は牛革を使った紳士靴が主で、

全国に100店舗ほどの取引があり、また自社ブランドのカスタムオーダーシステムで、

色々な革、色、柄から自分だけの1足が評判で、全国200店舗以上の取り扱い店に提供しているとのこと。なお、高級品に使用する牛革はヨーロッパから

輸入しているとのことであった。

#### ◆新潟山形南部連絡道路・梨郷道路工事現場

全体工事費は180億円。

20年度に事業化され、23年度に用地買収が開始された。

今年度は、道路と水路ボックス7基の構造物を作るとの説明を受けた。

(委員長 白鳥 雅巳)



## 編集委員会 視察報告

議会報活動の向上を図るため10月16・17日、群馬県渋川市に視察に行ってきた。人口8万3000人余り、市内には全国に名高い開湯1900年の伊香保温泉がある。

市のキャッチフレーズは「日本のどまんなか 水と緑といで湯の街 渋川市」である。有名な温泉郷と自然豊かな山々に囲まれているところは南陽市に似ている。2年前議会改革委員会を立ち上げ、議会活性化と市民に関心を持つてもらう議会に取組んでいる。情報公開度ランキングも南陽市より上である。

そんな渋川市が、議会報発行にどんな取組をしているのか多に

関心があった。

当日は入内川議長と担当事務局員の方が対応下さり、「議員手づくり」の議会報発行について説明をいただいた。その中で単に議会の結果だけを羅列するのではなく、あくまでも市民にとって必要度の高い事柄や、議会側にとつて市民に知ってほしい事柄を重点的に載せているということだった。慣例的にやっているから、今までどおりで良いという観念を断ち切らねばと強く感じた。今後の編集に生かしたい。

(委員長 片平志朗)



研修する編集委員

## 初の置賜三市 議会交流研修



研修する三市議員

### 「会津若松市議会の 議会改革」

講師 目黒章三郎前議長

10月2日熊野大社證誠殿で米沢・長井・南陽市3市の初めての議員交流研修会が開催されました。

市民に信頼され、役に立つ真の議会を目指した議会改革について熱く語られました。要旨はつぎの通り。

### ◆開かれた議会

その第一歩として議長、副議長、各常任委員長、副委員長

なども所信を明らかにして立候補すべきだ。水面下でポスト争いに終始しては、議会不信が高まるだけで、信頼は生まれない。

### ◆政策提案

議会として活動報告会など、市民と直接対話する意見交換会を1班6人で構成し5月と10月の年2回行い、問題発見の場として捉えるとともに、市当局提案に不備や適正性があるか、デザインは適正かなどチェックし、多様な市民意見を基に、政策提案できる議会にすべきだ。

市民のための議会として、議会の総意で出来ることから一つ一つ議会改革をやっていくことが求められていることを痛感しました。(編集委員 山口正雄)

## 市議会議長会 研修

### 「議会だより」は読まれない

「議会だよりはゴミへ直行する」と述べる電通パブリックリレーションズの講師。

11月8日に尾花沢市で山形県市議会議長会の議会報研修会が開催されました。

講師はアドバイザーを務める「さいたま市議会だより」を劇的に変えた実績の持ち主。タイトルが「議会だより」では市民が手に取ってくれない。さいたま市は議員定数が64人だったことから「口クヨン」というタイトルにして、議会だよりだと分からないようにしたそうです。本当に読んでほしいなら何でもするという

気迫あふれる研修でした。(編集委員 白岩孝夫)



講師の話を聞く編集委員

### 表紙の写真

一月五日、新春恒例の消防出初め式が行われた。

輝かしい新春の幕明けにふさわしい青空の広がる中、消防団第六・第七分団員による威勢の良いしご乗りの妙技が披露され、盛んな拍手を浴びていた。また、フメートルを超えるはしごの上から餅まきも行われ、多くの市民の賑やかな歓声に包まれた。

(編集委員 吉田美枝)

# 走りだす南陽市!

# 2014



## 編集後記

今年の干支は「午」ですね。今は馬と云えば競馬や動物園でしか見ることが出来なくなりました。農機具が発達する前は、田畑の耕運や馬車を引いたり、家族にとつて大切な働き手だったのでした。そついうことで、家族と一つ屋根の下に住んでいました。



コンクリートの隙間に咲くど根性「きんぎょ草」

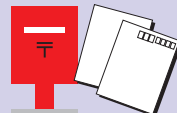
れ、愛読されますよう頑張つて行きます。今年も、市民の皆様にとつて良き年でありますようにご祈念申し上げます。(片平)

編集委員長 片平志朗  
副委員長 山口正雄  
委員 白岩孝夫  
高橋一郎  
船山利美  
吉田美枝

## ご理解ください

南陽市議会議員一同は、政治倫理の確立を期するため、年賀状などの時候の挨拶状(答礼のため自筆によるものを除く)、諸行事、会合での一切の寄付などは行っておりません。市民のみなさんのご理解とご協力を願います。

公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせています。



公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止を申し合わせています。